

【ご質問】

中期計画の発表時に、最終年度である 2024 年度の営業利益目標を 1,250 億円としていましたが、今回発表した 2024 年度の年初計画では 1,150 億円とした理由を教えてください。

【ご回答】

2024 年度の営業利益計画については、中期計画発表時に掲げた 1,250 億円を念頭に置いています。ビジネス展開する各市場の変化やファンの動向の変化に加え、デジタル事業におけるリピート販売数の前提や玩具ホビー事業におけるプロダクトミックスの変化など、各事業の計画を踏まえ、1,150 億円に設定しました。

【ご質問】

デジタル事業は今後多額の評価損を計上する可能性がありますか？

【ご回答】

2023 年度は苦戦したオンラインゲームについて、社内ルールに則り評価損を計上したほか、次期中期計画を見据えてタイトル編成を見直し、処分損を計上しました。その他開発中のタイトルについても開発審査体制の強化などにより、今後多額の評価損が発生する可能性は少ないと考えています。なお、2023 年度末のゲーム関連の仕掛品は 774 億円まで圧縮されていますが、今後も四半期ごとに仕掛品が適正であるか見直すことで、リスクの軽減を図ってまいります。

【ご質問】

デジタル事業の中期的なタイトルポートフォリオについて、どのようなバランスを予定していますか？

【ご回答】

特定のジャンルや IP に偏らず、バランスのとれたタイトルポートフォリオを想定しています。実績のあるシリーズのナンバリングタイトル、戦略的にワールドワイドで展開するタイトル、ライト層向けのカジュアルなタイトル、旬な IP や今後広がりそうなジャンルなど、バンダイナムコらしいポートフォリオ編成を検討しています。

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。

【ご質問】

デジタル事業において、日本と北米が連携してワールドワイドのマーケティングを行うとはどういうことですか？

【ご回答】

デジタル事業においては欧米が大きな市場となっており、マーケティング等のリソースを戦略的に投下し、長期的にタイトルを売り伸ばすことが必要だと考えています。そのため、マーケティングの軸足を北米に置き、日本と連携しながらニーズの把握や、各施策や地域へのリソース配分などについて戦略的に検討し投入します。

【ご質問】

トイホビー事業のガンプラの生産体制について、需要と供給のバランスの現状を教えてください。また、今後の成長余地をどうみていますか？

【ご回答】

ガンプラについては、引き続き需要が上回っている状況です。そのため、現工場のバンダイホビーセンターに加えグループ会社のほかの拠点やパートナー企業でも生産するなど、生産体制の増強に努めております。なお、プラモデルの新工場の本格稼働による貢献は次期中期計画以降になる予定です。新工場が本格稼働するまでは生産効率をあげることで対応してまいります。

今後の成長余地については、まだガンプラをお届けできていない国や地域も多数あり、生産体制をさらに強化することで、展開を拡大できる可能性があると考えています。

【ご質問】

劇場作品「機動戦士ガンダム SEED FREEDOM」の国内・海外展開の状況をお聞かせください。

【ご回答】

「機動戦士ガンダム SEED FREEDOM」については、2023 年度に公開した国内において、ガンダム映画史上最高の興行成績となりました。2024 年度には北米、アジア、オセアニア、中東など、80 以上の国や地域で展開してまいります。今後もさまざまなメディア・媒体を通じてファンの拡充を図っていく予定です。また、配信や劇場での興行収入などに加え、海外に向けたライセンス販売や、グループとしての商品展開など、幅広くビジネスを拡大してまいります。

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。

【ご質問】

IP プロデュースユニットに(株)エイトビットが加わりましたが、今後のアニメスタジオの M&A に対する方針や考え方をお聞かせください。

【ご回答】

アニメスタジオの M&A に関しては、買収自体が目的ではなく、アニメーション業界の人材不足や制作環境の改善のため、ともに IP 創出・育成を行う仲間を増やしたいという想いがベースになっています。子会社化に限らず、業務提携をするなど、ともに良い作品を作っていくパートナーを今後も積極的に見つけていきたい考えです。

以上

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。